

1 調査の目的

本調査は、令和6年度中に新たな「練馬区地域福祉計画」を策定するにあたり、区民及び地域福祉活動を行う団体・個人の皆様から、近所付き合いやボランティア活動、地域福祉活動等に関する状況や意向などを伺い、計画に反映することを目的に実施しました。

2 調査概要

種類	区民ニーズ調査	地域福祉関係団体調査	地域福祉関係者調査
対象	区在住の18歳以上の区民より無作為抽出	区内で活動する団体（町会・自治会、老人クラブ、障害者団体等）	区内で活動する関係者（民生・児童委員、保護司、更生保護女性会等）
配付回収	調査票の郵送配付 調査票の郵送回答／専用WEBサイトからインターネット回答（回答者選択）	調査票の郵送配付 調査票の郵送回答／専用WEBサイトからインターネット回答（回答者選択）	調査票の郵送、手渡し配付等 調査票の郵送回答／専用WEBサイトからインターネット回答（回答者選択）
調査期間	令和5年10月12日～11月2日 ※最終受取11月10日	令和5年10月12日～11月2日 ※最終受取11月10日	令和5年10月12日～12月4日 ※最終受取12月18日

3 回収結果

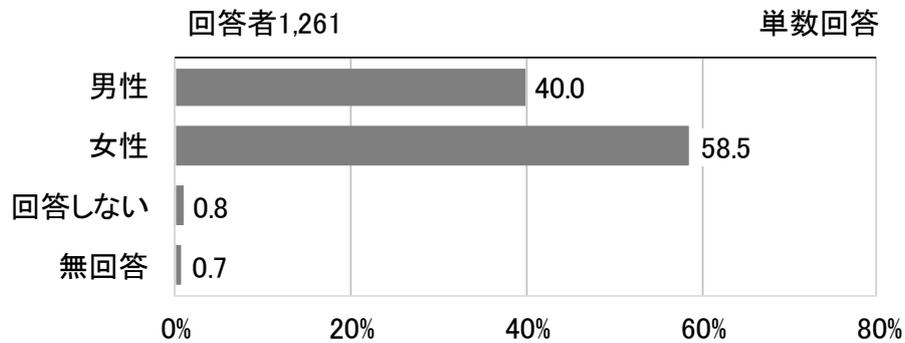
種類	区民ニーズ調査	地域福祉関係団体調査	地域福祉関係者調査	合計
配付	3,000件	505件	1,250件	4,755件
回収	1,261件 (郵送823件) (WEB438件)	306件 (郵送236件) (WEB70件)	526件 (郵送393件) (WEB133件)	2,093件 (郵送1,452件) (WEB641件)
回収率	42.0%	60.6%	42.1%	44.0%

4 区民ニーズ調査

1 あなた（ご本人(ほんにん)）のことについておたずねします

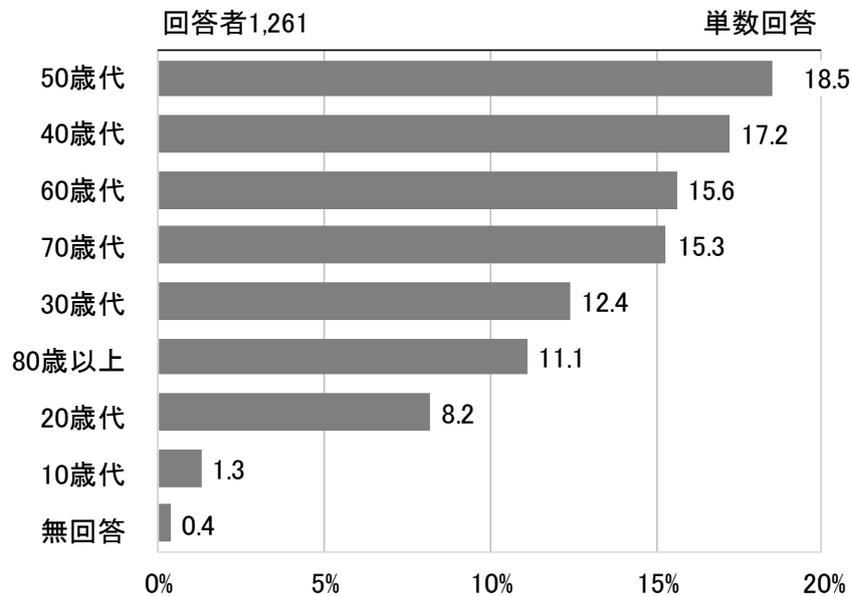
問1 あなたの性別をお答えください。（○は1つ）

○ 性別は、「男性」（40.0%）、「女性」（58.5%）、「回答しない」（0.8%）となっています。



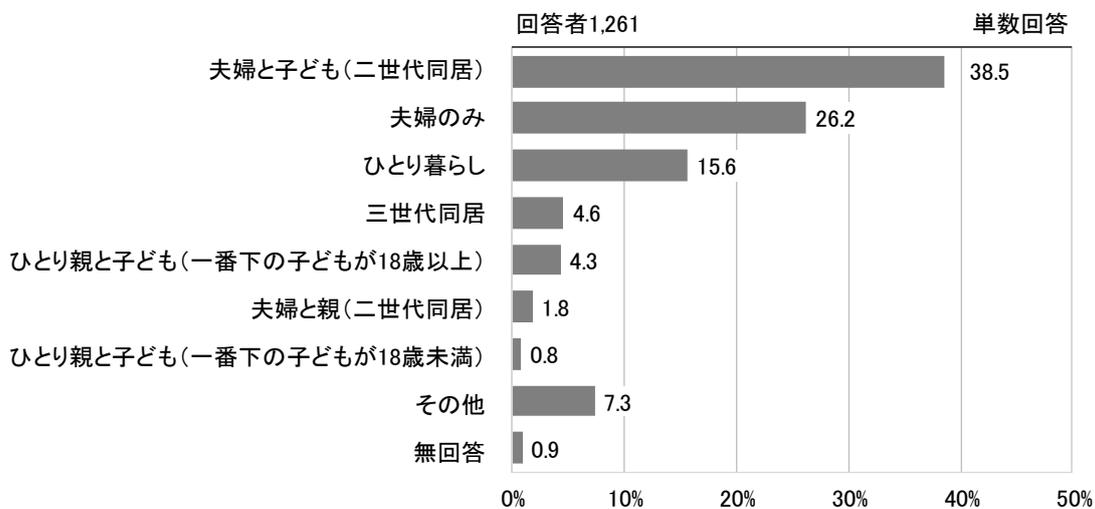
問2 あなたの年齢はおいくつですか。（○は1つ）

○ 年齢は、「50歳代」（18.5%）が最も多く、次いで「40歳代」（17.2%）、60歳代（15.6%）となっています。



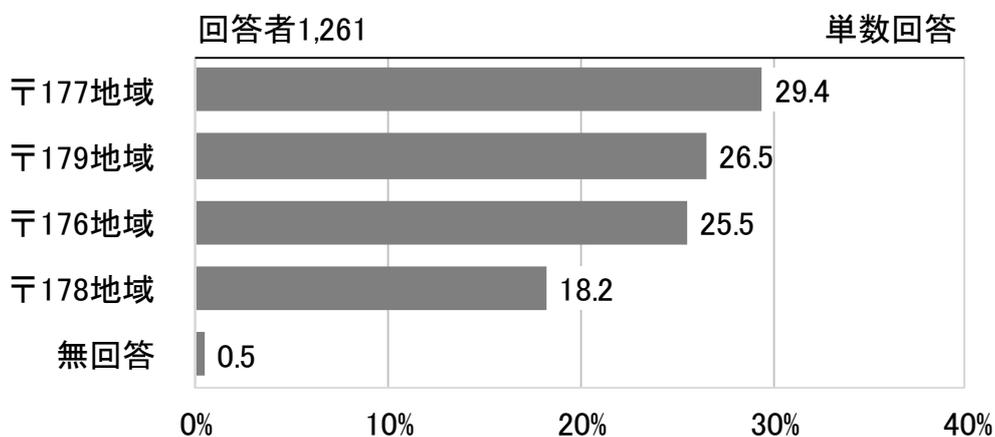
問4 現在、あなたが同居している世帯の構成は、次のどれにあたりますか。(○は1つ)

- 世帯構成は、「夫婦と子ども(二世帯同居)」(38.5%)が最も多く、次いで「夫婦のみ」(26.2%)、「ひとり暮らし」(15.6%)となっています。



問6 あなたのお住まいの郵便番号は、次のどれにあたりますか。(○は1つ)

- 居住地域は、「〒177 地域」(29.4%)が最も多く、次いで「〒179 地域」(26.5%)、「〒176 地域」(25.5%)となっています。

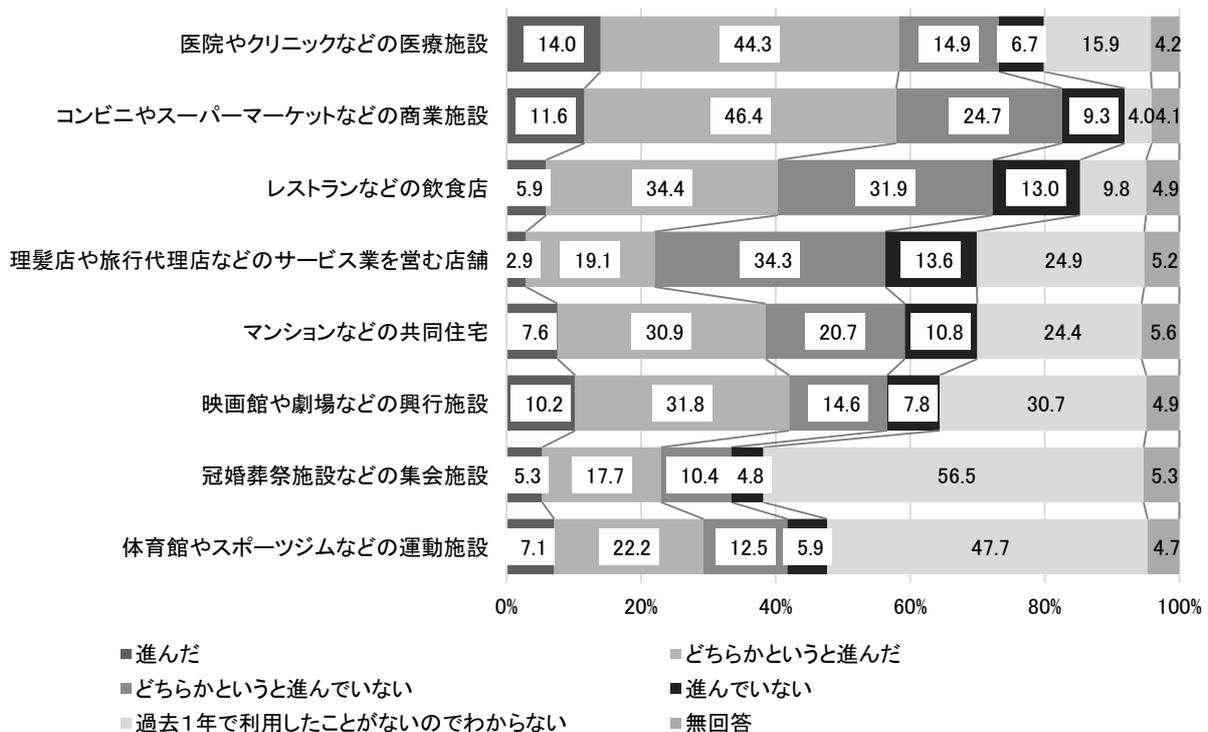


7 福祉のまちづくりについておたずねします

問 27 区内の中規模（500㎡未満）・小規模（200㎡未満）の建物について、以前と比べて、高齢者や障害のある方、乳幼児を連れた方などが利用しやすいバリアフリー整備が進んだと思いますか。（それぞれ1つに○）

- バリアフリー整備が進んだかは、『進んだ』（「進んだ」と「どちらかというに進んだ」の合計）では、「医院やクリニックなどの医療施設」（58.3%）が最も多く、次いで「コンビニやスーパーマーケットなどの商業施設」（58.0%）、「レストランなどの飲食店」（40.3%）となっています。
- 一方、『進んでいない』（「どちらかというに進んでいない」と「進んでいない」の合計）では、「理髪店や旅行代理店などのサービス業を営む店舗」（47.9%）が最も多く、次いで「レストランなどの飲食店」（44.9%）、「コンビニやスーパーマーケットなどの商業施設」（34.0%）となっています。

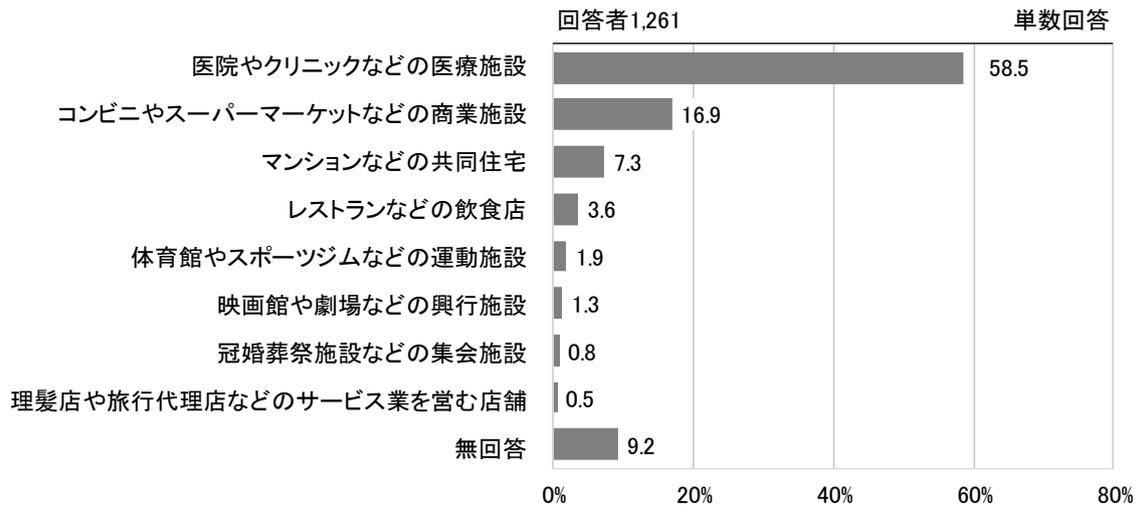
回答者1,261 単数回答



問 27-1 今後、段差の解消や手すりの設置、車いすやベビーカーで使いやすいトイレの設置などのバリアフリー化について、重点的に取り組むべきと思う区内の建物を問 27 の①～⑧項目の中から優先度の高いもの3位までの番号をお答えください。

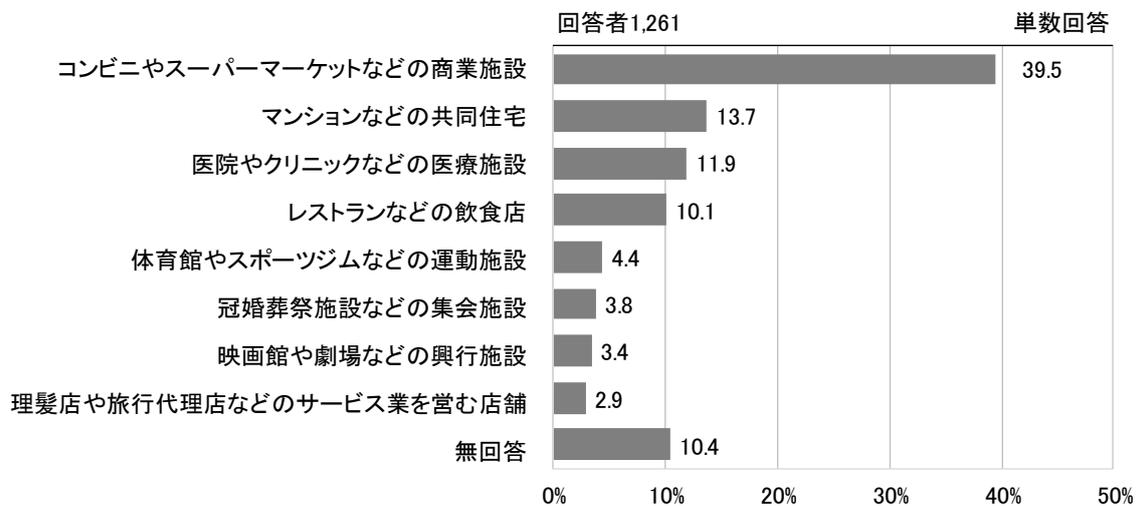
【1位】

- バリアフリー化について、重点的に取り組むべき建物は、1位では、「医院やクリニックなどの医療施設」(58.5%)が最も多く、次いで「コンビニやスーパーマーケットなどの商業施設」(16.9%)、「マンションなどの共同住宅」(7.3%)となっています。



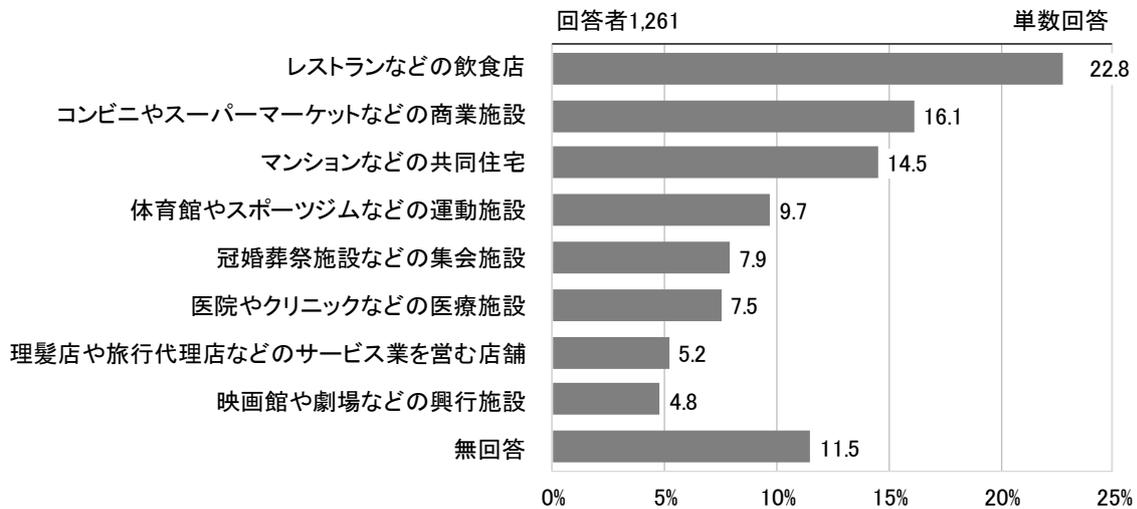
【2位】

- バリアフリー化について、重点的に取り組むべき建物は、2位では、「コンビニやスーパーマーケットなどの商業施設」(39.5%)が最も多く、次いで「マンションなどの共同住宅」(13.7%)、「医院やクリニックなどの医療施設」(11.9%)となっています。



【3位】

- バリアフリー化について、重点的に取り組むべき建物は、3位では、「レストランなどの飲食店」(22.8%)が最も多く、次いで「コンビニやスーパーマーケットなどの商業施設」(16.1%)、「マンションなどの共同住宅」(14.5%)となっています。



問 28 バリアフリー整備がなかなか難しい小規模店舗等において、あるとよい設備、対応、サービスのアイデア・工夫をお聞かせください。(自由記述)

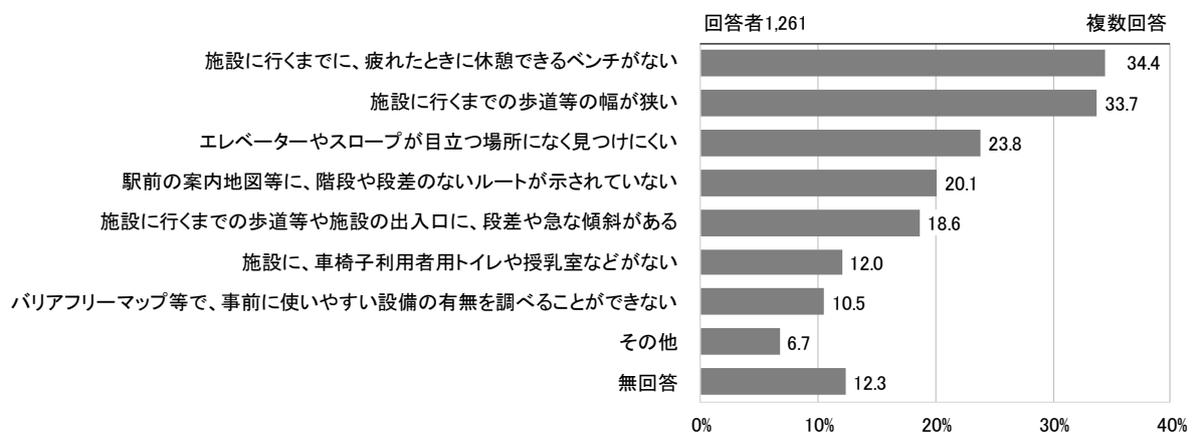
〔主な意見〕

- 医院に車椅子使用者を連れて行った際に医院内に入る事が出来ない事が何度かありました (エレベーター等なし)
- 店舗の設備、店員の介助等、出来ることを事前にお知らせする、ベビーカー入店 OK だよとか、入り口段差なので、手伝い必要なら呼んでくださいとか
- 車椅子、ベビーカーを置くスペースや通ら道の確保
- 宅配サービス
- ストマ用のトイレ整備
- 車椅子は大変です
- 段差の解消
- 障害への認識度の向上
- 店舗内に警報ボタンを目立つ所につけたら何かあった時に人に知らせることが出来るかと思ひます
- 簡易スロープやステップがあると利用しやすい
- インターホンで介助を呼べる、簡易スロープ
- お子様椅子、ベビーカーも倒れる程度のスペース
- 簡易スロープや手すり等、歩行の補助となるものがあると良い
- インターホンで介助を呼べる、定期の出張出店、ネットショップとの連動
- インターホンで介助者を呼べる。介助の方が、手続き等をしている間のちょっとした時間を見守っていてももらいたい

- 介助できる場合、設備がある場合はその内容を地図サイト、アプリや、予約サイト、アプリにしてほしい
- 買い物中に介助してくれる人をつけられる
- 簡易スロープの設置、商品棚と棚の間のスペース（通路）をできる限り広く確保し、ベビーカーや車椅子の動線を確保する
- ドアを自動ドアにする 店の前のスペースを広くとる など

問 29 あなたが、日頃、区内の公共施設などに用事ででかけるときに、どのような設備や案内などが不足していると感じますか。（2つまで○）

- 公共施設の設備や案内などで不足は、「施設に行くまでに、疲れたときに休憩できるベンチがない」（34.4%）が最も多く、次いで「施設に行くまでの歩道等の幅が狭い」（33.7%）、「エレベーターやスロープが目立つ場所になく見つけにくい」（23.8%）となっています。

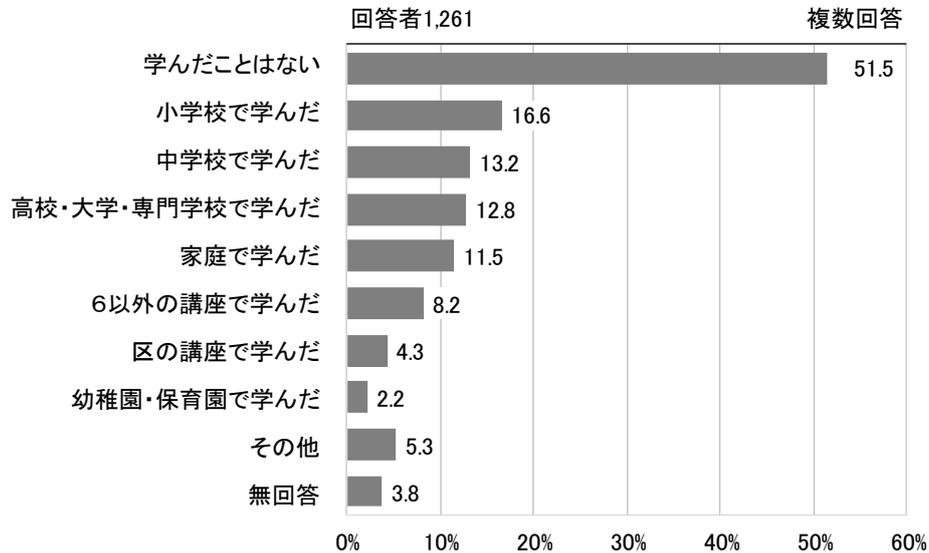


[その他の意見]

- 表示板の文字が小さく、めがねが必要なため、大きくしてほしい
- 目が悪いと段差がわかりづらいので、黄色など段差に色をつけて欲しい
- オムツ替え台があるところには、オムツ用のゴミ箱も設置してほしい
- 介助可能な多目的トイレの不足 など

問 30 学校や地域、家庭などで障害のある方や高齢者のことなど、やさしいまちづくりについて学んだことがありますか。(車いすや手話などの体験、認知症について学んだなど) (いくつでも○)

○ やさしいまちづくりについて学んだことは、「学んだことはない」(51.5%)が最も多く、次いで、「小学校で学んだ」(16.6%)、「中学校で学んだ」(13.2%)となっています。



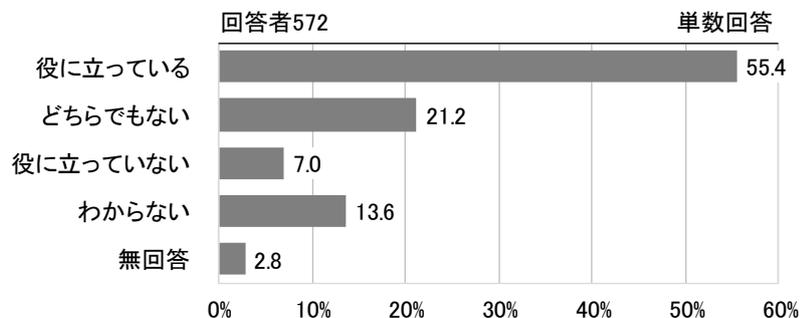
[その他の意見]

- 常に情報で学んでいる
- テレビで学んだ
- 仕事関連で学びました
- 家族が要介護者になったので自分で勉強した など

【問 30 で「学んだ」と答えた方へ】

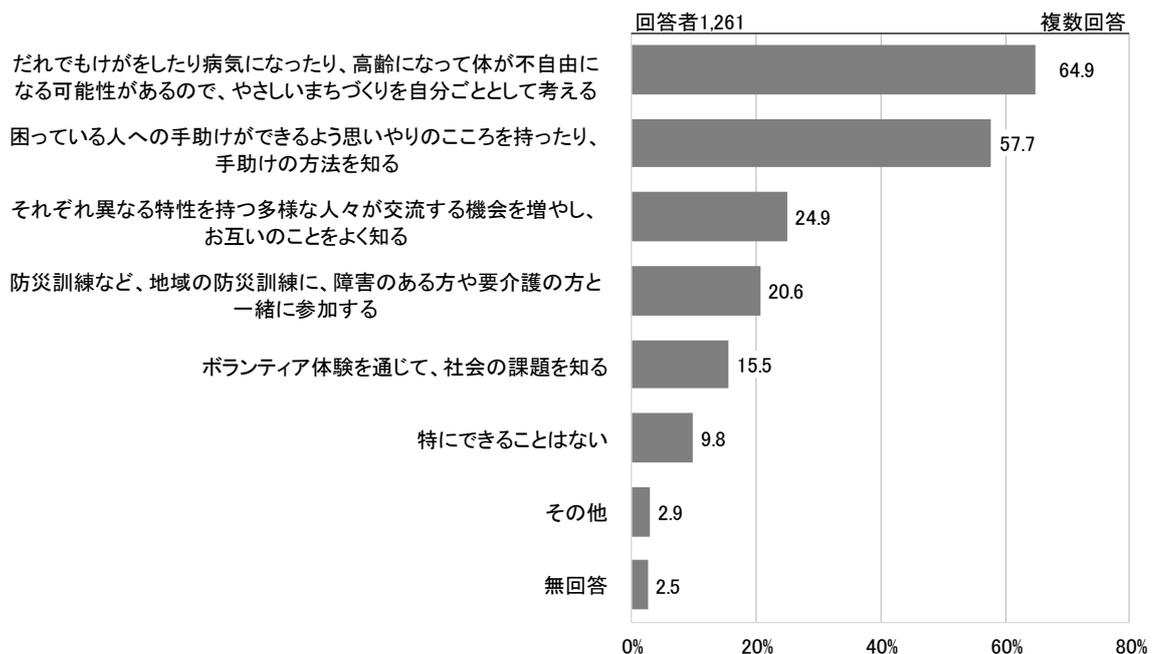
問 30-1 学んだことは、その後、役に立っていますか。(○は1つ)

○ やさしいまちづくりについて学んだことは、その後、役に立っているかは、「役に立っている」(55.4%)が最も多く、次いで「どちらでもない」(21.2%)、「わからない」(13.6%)となっています。



問 31 やさしいまちづくりを進めるために、個人ではどのようなことができると思いますか。
(いくつでも○)

- やさしいまちづくりを進めるために、個人ではどのようなことができるかは、「だれでもけがをしたり病気になったり、高齢になって体が不自由になる可能性があるので、やさしいまちづくりを自分ごととして考える」(64.9%) が最も多く、次いで「困っている人への手助けができるよう思いやりのところを持ったり、手助けの方法を知る」(57.7%)、「それぞれ異なる特性を持つ多様な人々が交流する機会を増やし、お互いのことをよく知る」(24.9%) となっています。



[その他の意見]

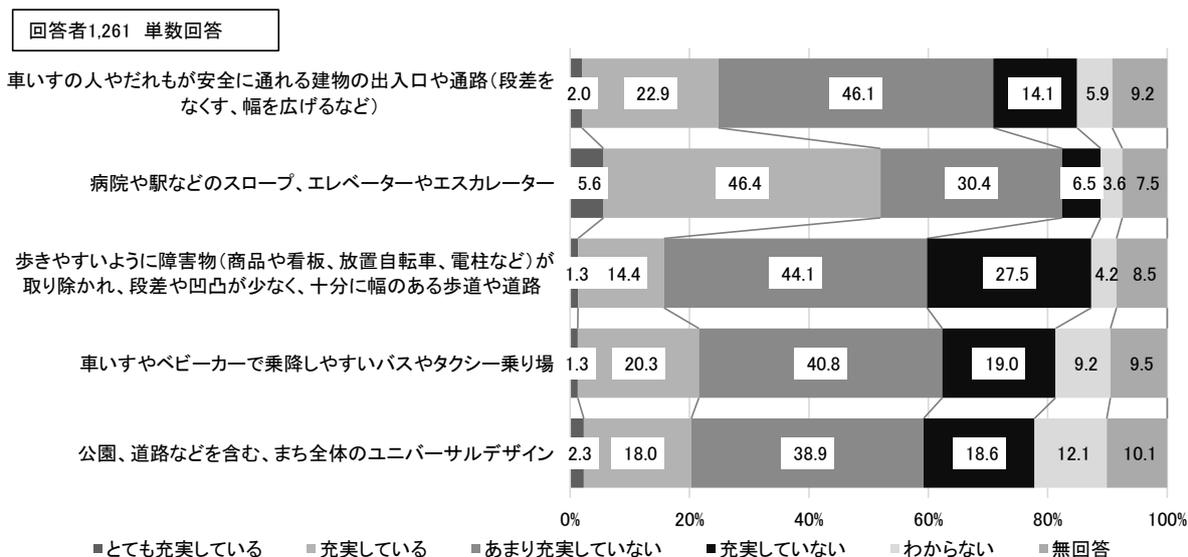
- 相手の求める対策を知っておく
- 家庭で子どもたちとまちづくりについて日常的に話す
- 貧困家庭の子ども達への食事支援
- まずは自身の心身にゆとりが持てるよう心掛ける など

5 地域福祉関係団体調査

7 福祉のまちづくりについておたずねします

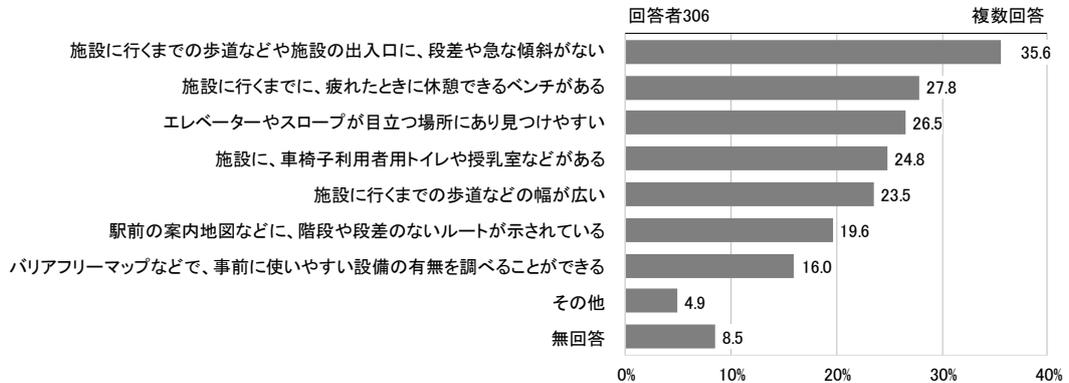
問 12 区内のバリアフリーについて、どのように感じていますか。(それぞれ1つに○)

- 区内のバリアフリーについては、『充実している』（「とても充実している」と「充実している」の合計）では、「病院や駅などのスロープ、エレベーターやエスカレーター」（52.0%）が最も多く、次いで「車いすの人やだれもが安全に通れる建物の出入口や通路（段差をなくす、幅を広げるなど）」（24.9%）、「車いすやベビーカーで乗降しやすいバスやタクシー乗り場」（21.6%）となっています。
- 一方、『充実していない』（「あまり充実していない」と「充実していない」の合計）では、「歩きやすいように障害物（商品や看板、放置自転車、電柱など）が取り除かれ、段差や凹凸が少なく、十分に幅のある歩道や道路」（71.6%）が最も多く、次いで「車いすの人やだれもが安全に通れる建物の出入口や通路（段差をなくす、幅を広げるなど）」（60.2%）、「車いすやベビーカーで乗降しやすいバスやタクシー乗り場」（59.8%）となっています。



問 13 区役所や文化ホールなどの公共施設を利用する際に、より安心・快適に利用できるようにするためにどのような設備や案内などがあるとよいと感じますか。(2つまで○)

- より安心・快適に利用できるようにするためには、「施設に行くまでの歩道などや施設の出入口に、段差や急な傾斜がない」(35.6%)が最も多く、次いで「施設に行くまでに、疲れたときに休憩できるベンチがある」(27.8%)、「エレベーターやスロープが目立つ場所にあり見つけやすい」(26.5%)、
「施設に、車椅子利用者用トイレや授乳室などがある」(24.8%)、「施設に行くまでの歩道などの幅が広い」(23.5%)、
「駅前の案内地図などに、階段や段差のないルートが示されている」(19.6%)、
「バリアフリーマップなどで、事前に使いやすい設備の有無を調べることができる」(16.0%)、
「その他」(4.9%)、「無回答」(8.5%)となっています。

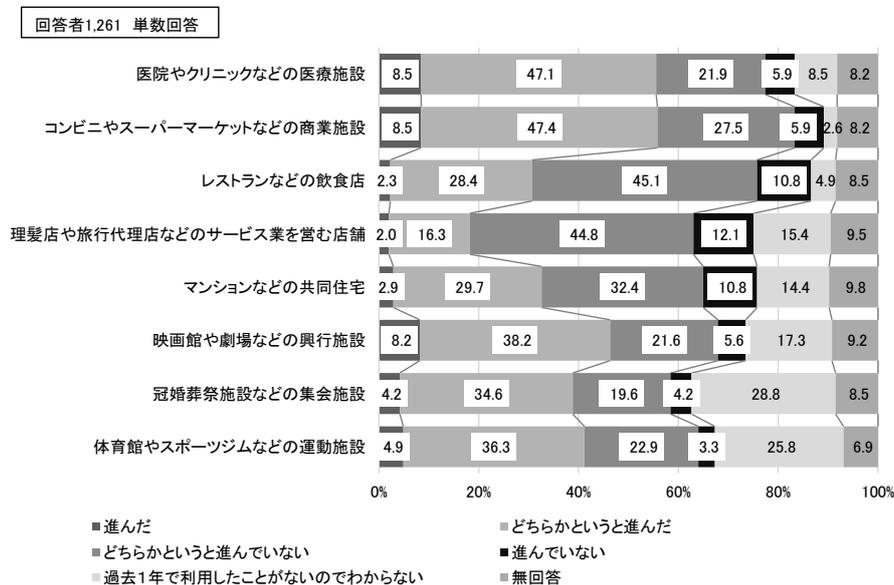


〔その他の意見〕

- 歩行者の右側通行等、ぶつからない工夫 (標識)
- 区役所に行くバスルートが不便
- 夏の暑さ対策に火除けやミスト、暑くならない道路などの対策が必要 など

問 14 練馬区内の中規模 (500㎡未満)・小規模 (200㎡未満) の建物は、以前と比べて、高齢者や障害のある方、乳幼児を連れた方などにとって利用しやすいバリアフリー整備が進んだと感じますか。建物の種類ごとにお答えください。(それぞれ1つに○)

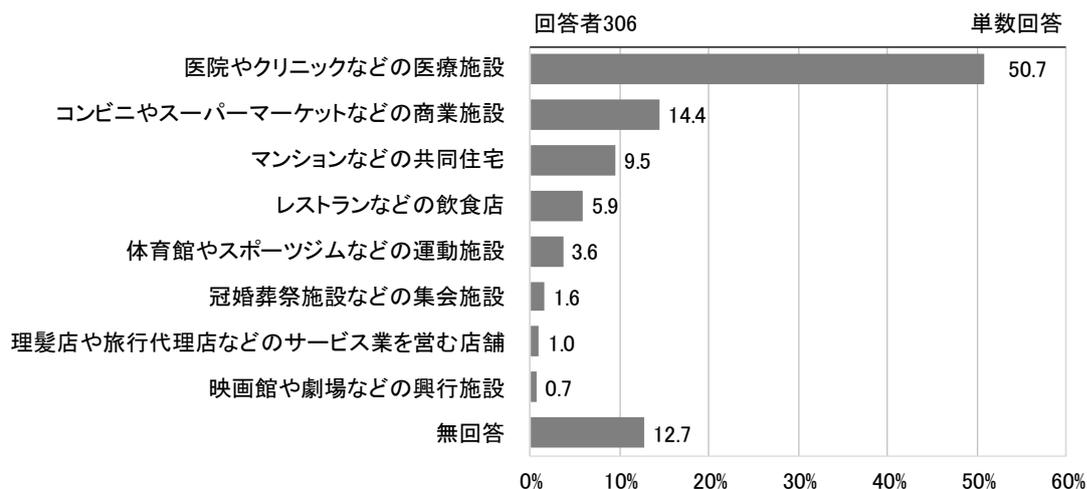
- バリアフリー整備が『進んだ』(「進んだ」と「どちらかというに進んだ」の合計)では、「コンビニやスーパーマーケットなどの商業施設」(55.9%)が最も多く、次いで「医院やクリニックなどの医療施設」(55.6%)、「映画館や劇場などの興行施設」(46.4%)となっています。
- 一方、『進んでいない』(「どちらかというに進んでいない」と「進んでいない」の合計)では、「理髪店や旅行代理店などのサービス業を営む店舗」(56.9%)が最も多く、次いで「レストランなどの飲食店」(55.9%)、「マンションなどの共同住宅」(43.2%)。



問 14-1 今後、段差の解消や手すりの設置、車いすやベビーカーで使いやすいトイレの設置などのバリアフリー化について、重点的に取り組むべきと思う区内の建物の種類を問 14 の①～⑧の項目の中から優先度の高いもの3位までの番号をお答えください。

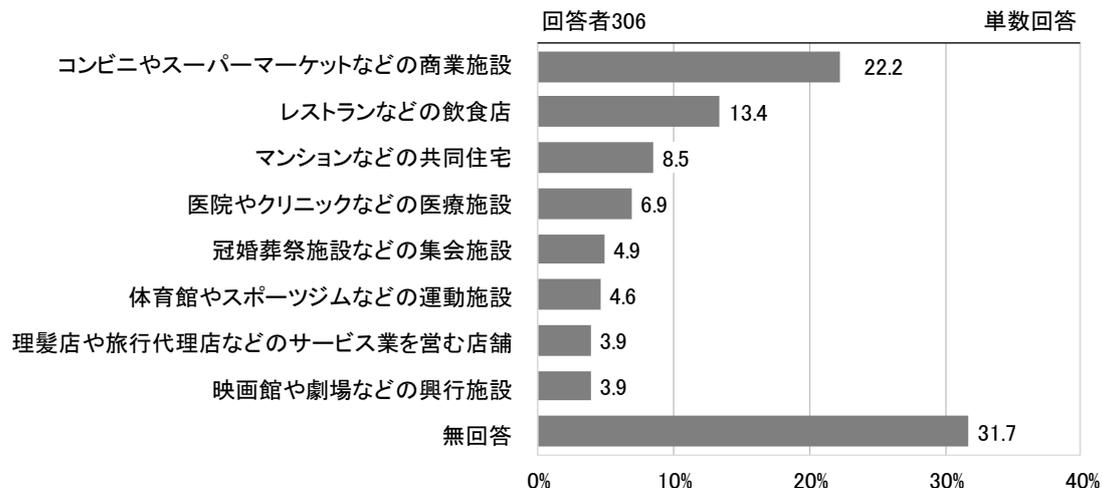
【1位】

- バリアフリー化について、重点的に取り組むべき建物は、1位では、「医院やクリニックなどの医療施設」(50.7%)が最も多く、次いで、「コンビニやスーパーマーケットなどの商業施設」(14.4%)、「マンションなどの共同住宅」(9.5%)となっています。



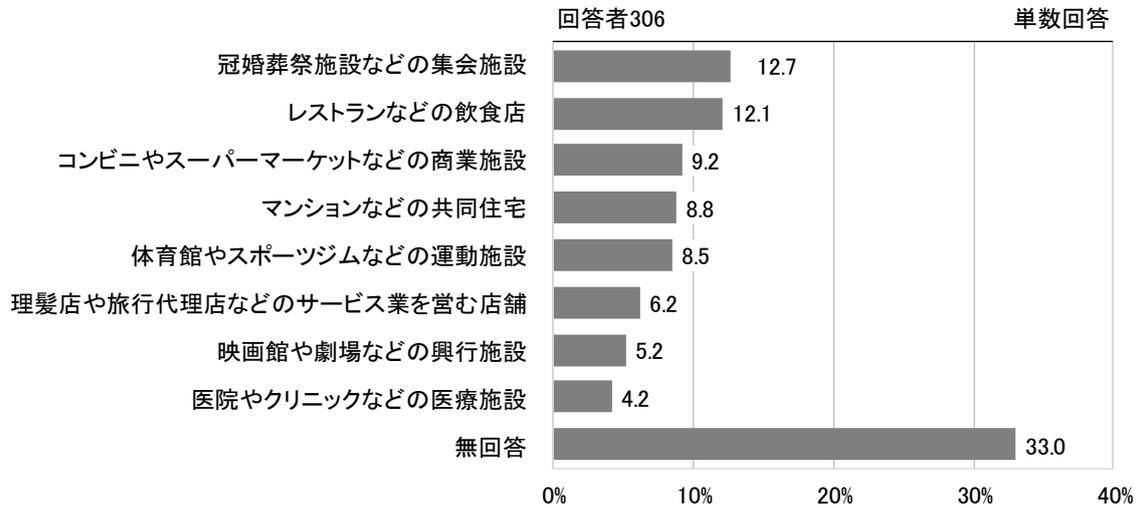
【2位】

- バリアフリー化について、重点的に取り組むべき建物は、2位では、「コンビニやスーパーマーケットなどの商業施設」(22.2%)が最も多く、次いで「レストランなどの飲食店」(13.4%)、「マンションなどの共同住宅」(8.5%)となっています。



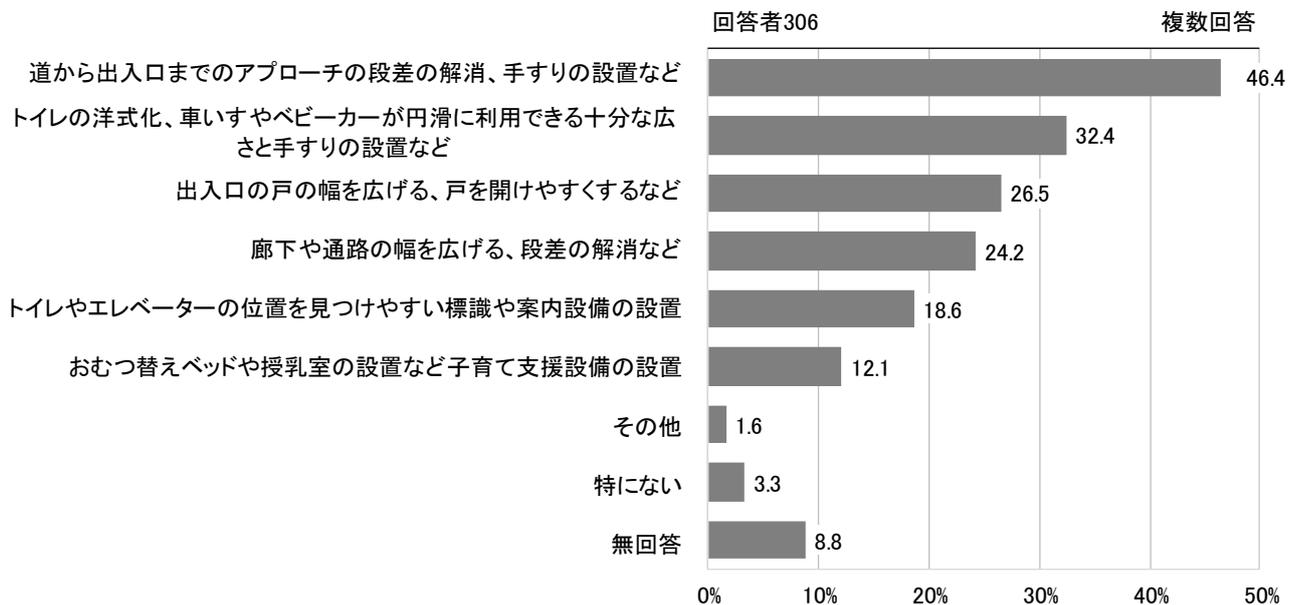
【3位】

- バリアフリー化について、重点的に取り組むべき建物は、3位では、「冠婚葬祭施設などの集会施設」(12.7%)が最も多く、次いで「レストランなどの飲食店」(12.1%)、「コンビニやスーパーマーケットなどの商業施設」(9.2%)となっています。



問 15 新築・改築等は、区の独自条例に基づき、バリアフリー整備を推進しています。既存の店舗等についても、バリアフリー整備をする際、費用の助成を受けられる事業を設け、バリアフリー化を進めています。しかし、既存の建物のバリアフリー化は、費用やスペース等の面で難しい場合も多くあります。そのような際に、最低限どのような整備があるとよいですか。下の図を参考にお答えください。(2つまで○)

- バリアフリー整備における最低限の整備は、「道から出入口までのアプローチの段差の解消、手すりの設置など」(46.4%)が最も多く、「トイレの洋式化、車いすやベビーカーが円滑に利用できる十分な広さと手すりの設置など」(32.4%)、「出入口の戸の幅を広げる、戸を開けやすくするなど」(26.5%)となっています。



〔その他の意見〕

- 段差の解消、各スペースの確保
- 非常口が無い
- ユニバーサルベッドがほとんど無い
- エレベーターがない階のバリアフリー化改修補助の充実 など

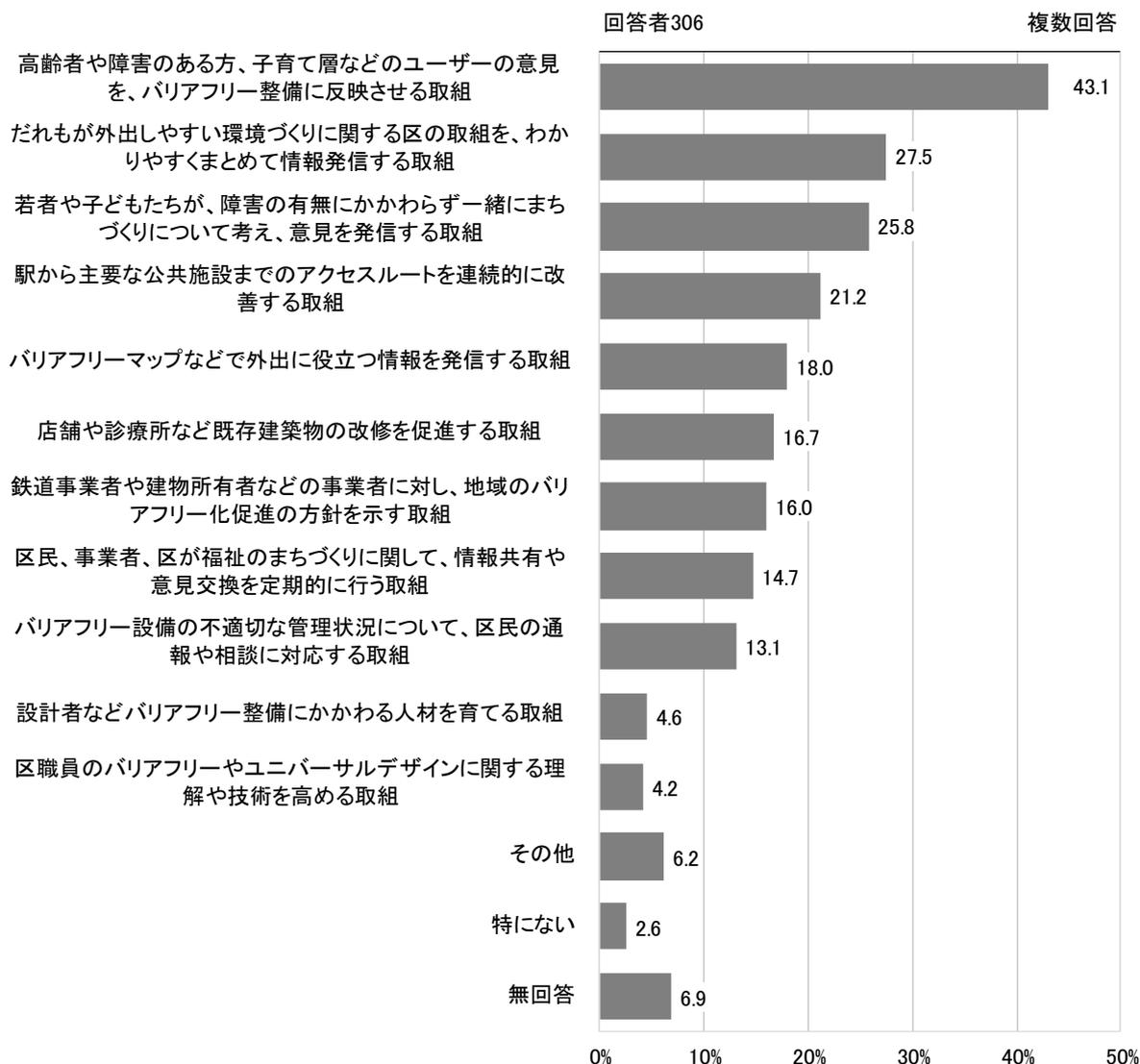
問 16 貴団体（貴所）の活動において、外出する際に、あるとよい設備、事前にわかるとよい情報、使っているアプリ、あるとよいアプリなどをお書きください。（自由記述）

〔主な意見〕

- スマホは持たないし、使わない、街中でスマホを片手に歩いている人は、交通の障害であり迷惑
- バリアフリー情報
- 公園の駐車場マップ、トイレの位置
- バリアフリースイートイレやレストラン
- 使用施設の内容（設備等）、Twitter (X) の活用、
- 地域で何がどこにあるのかが、検索しやすいアプリ
- みどりバスの増加
- 駅からのアクセスルートや目印の情報
- 車椅子を使って来た場合の置き場所が決まっているとよい
- 階段部分への手すりの設置をお願いしたい
- 行きたい場所への情報が手軽にチェックできる（SNS など）（混雑状況など）
- 施設内の混雑状況を知らせるアプリ
- 歩こう会で行きたい場所について、パソコンで調べています
- 医療系の混雑、タクシーのアプリ
- 出向く先のバリアフリーの現状や出先までの道中の情報。
- 街の中で、一息つける公共スペース
- バス停に到着予定時間が確認出来るモニターを設置して頂きたい
- バリアフリーの情報アプリ
- 車いすトイレがあるかどうか
- トイレの位置情報
- 建物内のトイレやエレベーター等の設備が明示されるアプリがあるとよい など

問 17 今後、練馬区内でだれもが外出しやすい環境づくりを進めていくためには、区はどのような取組を充実すべきだと思いますか。(3つまで○)

- 外出しやすい環境づくりを進めていくために、区は、「高齢者や障害のある方、子育て層などのユーザーの意見を、バリアフリー整備に反映させる取組」(43.1%)が最も多く、次いで「だれもが外出しやすい環境づくりに関する区の取組を、わかりやすくまとめて情報発信する取組」(27.5%)、「若者や子どもたちが、障害の有無にかかわらず一緒にまちづくりについて考え、意見を発信する取組」(25.8%)となります。

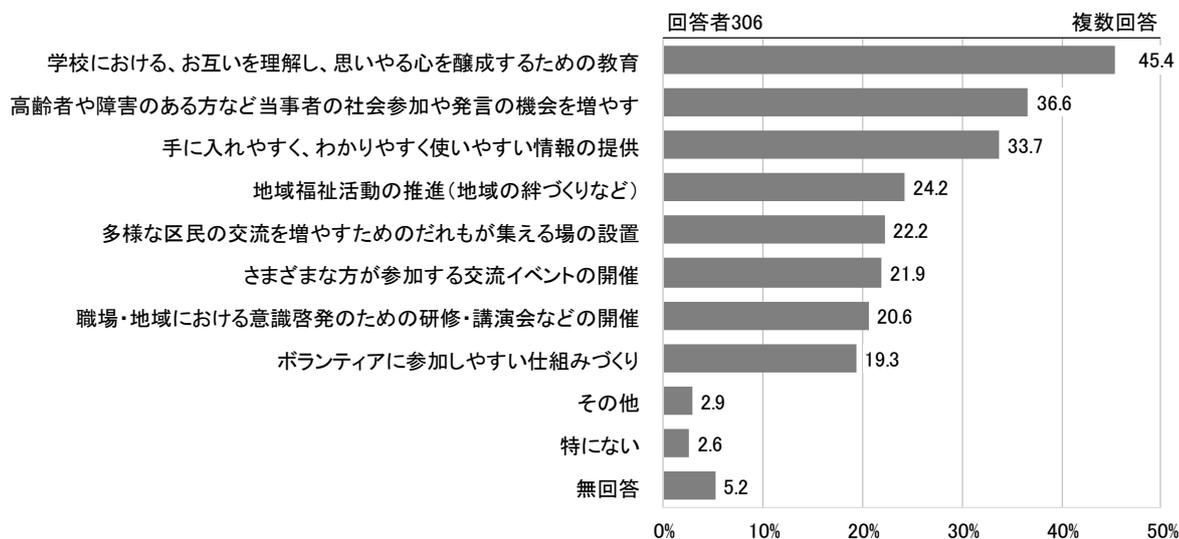


[その他意見]

- 老朽化施設、勤労福祉会館の早期建て替え
- 練馬駅より区役所へ行くルートが不明確
- 安全確保の為、監視カメラの設置とその運用、利用方法の研究 (AI 含む)
- ユニバーサルベッドの設置を義務付けること など

問 18 ソフト面における福祉のまちづくりを推進するためにはどのような取組が必要だと思いますか。(3つまで○)

- ソフト面における福祉のまちづくりを推進するための取組は、「学校における、お互いを理解し、思いやる心を醸成するための教育」(45.4%)が最も多く、次いで「高齢者や障害のある方など当事者の社会参加や発言の機会を増やす」(36.6%)、「手に入れやすく、わかりやすく使いやすい情報の提供」(33.7%)となっています。



[その他の意見]

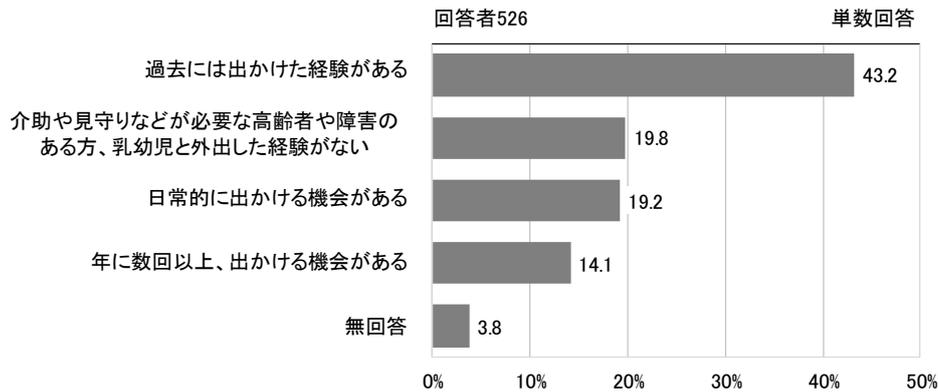
- 高齢者より若年層に向けた福祉が必要
- 高齢者をどの様な件でも引っ張り出すのは困難、イベントで来てもらい様々な有利な情報を提供
- 認知症、その他障害への理解を深めるための啓蒙活動
- 高齢者や障がい者が行動する姿を見ることで、弱者配慮の意識が増すと思う など

6 地域福祉関係者調査

4 福祉のまちづくりについて

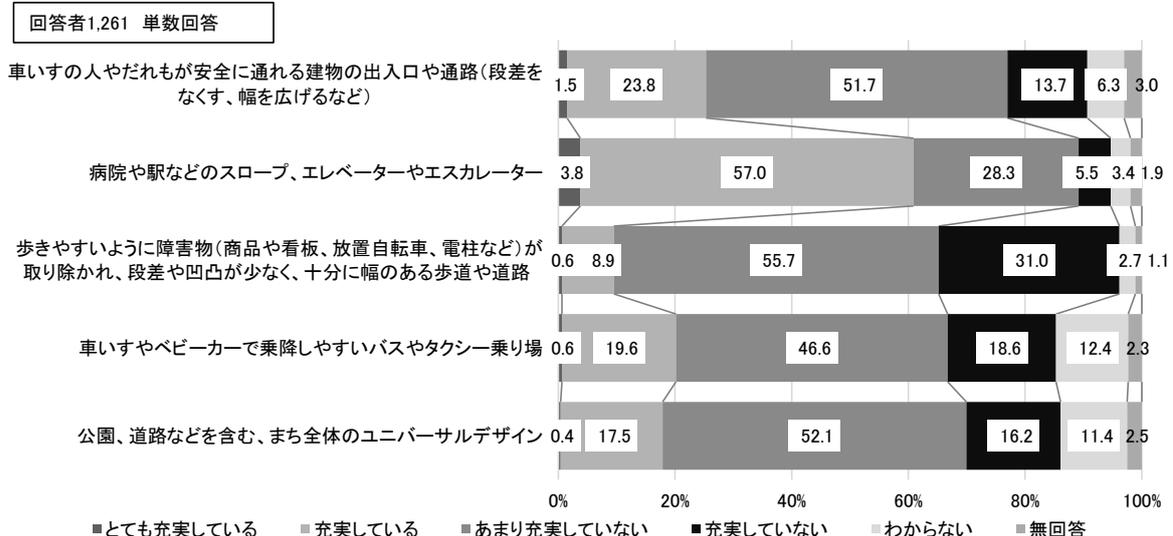
問 13 日頃から、介助や見守りなどが必要な高齢者や障害のある方、乳幼児と一緒に外出する機会がありますか。(1つに○)

- 高齢者や障害のある方、乳幼児と一緒に外出する機会は、「過去には出かけた経験がある」(43.2%)が最も多く、次いで「介助や見守りなどが必要な高齢者や障害のある方、乳幼児と外出した経験がない」(19.8%)、「日常的に出かける機会がある」(19.2%)となっています。



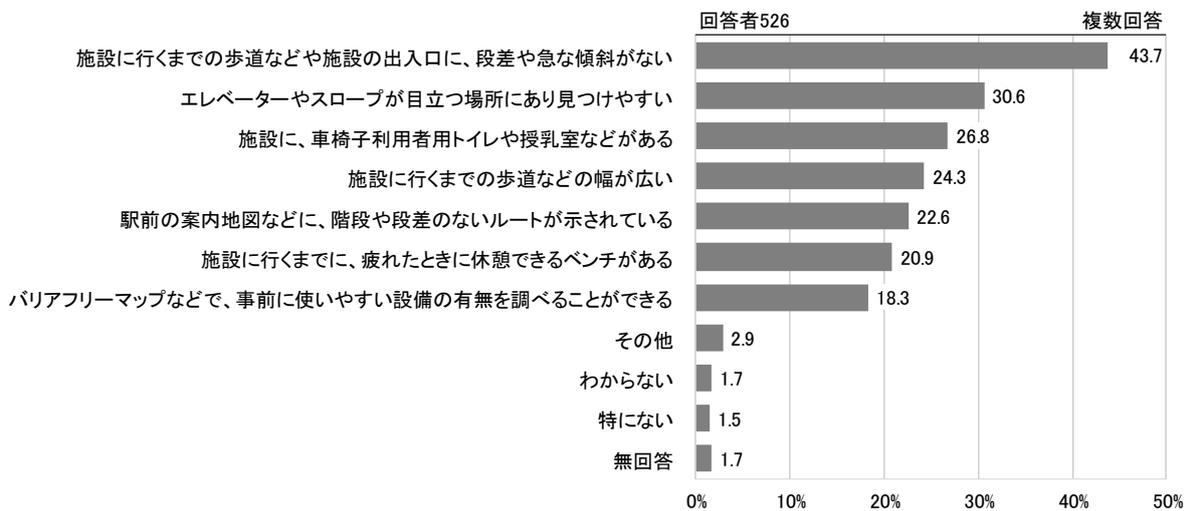
問 14 区内のバリアフリーについて、どのように感じていますか。(それぞれ1つに○)

- 区内のバリアフリーについては、『充実している』(「とても充実している」と「充実している」の合計)では、「病院や駅などのスロープ、エレベーターやエスカレーター」(60.8%)が最も多く、次いで「車いすの人やだれもが安全に通れる建物の出入口や通路(段差をなくす、幅を広げるなど)」(25.3%)、「車いすやベビーカーで乗降しやすいバスやタクシー乗り場」(20.2%)となっています。
- 一方、『充実していない』(「あまり充実していない」と「充実していない」の合計)では、「歩きやすいように障害物(商品や看板、放置自転車、電柱など)が取り除かれ、段差や凹凸が少なく、十分に幅のある歩道や道路」(86.7%)が最も多く、次いで「公園、道路などを含む、まち全体のユニバーサルデザイン」(68.3%)、「車いすの人やだれもが安全に通れる建物の出入口や通路(段差をなくす、幅を広げるなど)」(65.4%)となっています。



問 15 区役所や文化ホールなどの公共施設を利用する際に、より安心・快適に利用できるようにするためにどのような設備や案内などがあるとよいと感じますか。(2つまで○)

- 公共施設を利用する際に、より安心・快適に利用できるようにするためには、「施設に行くまでの歩道などや施設の出入口に、段差や急な傾斜がない」(43.7%)が最も多く、次いで「エレベーターやスロープが目立つ場所にあり見つけやすい」(30.6%)、「施設に、車椅子利用者用トイレや授乳室などがある」(26.8%)となっています。

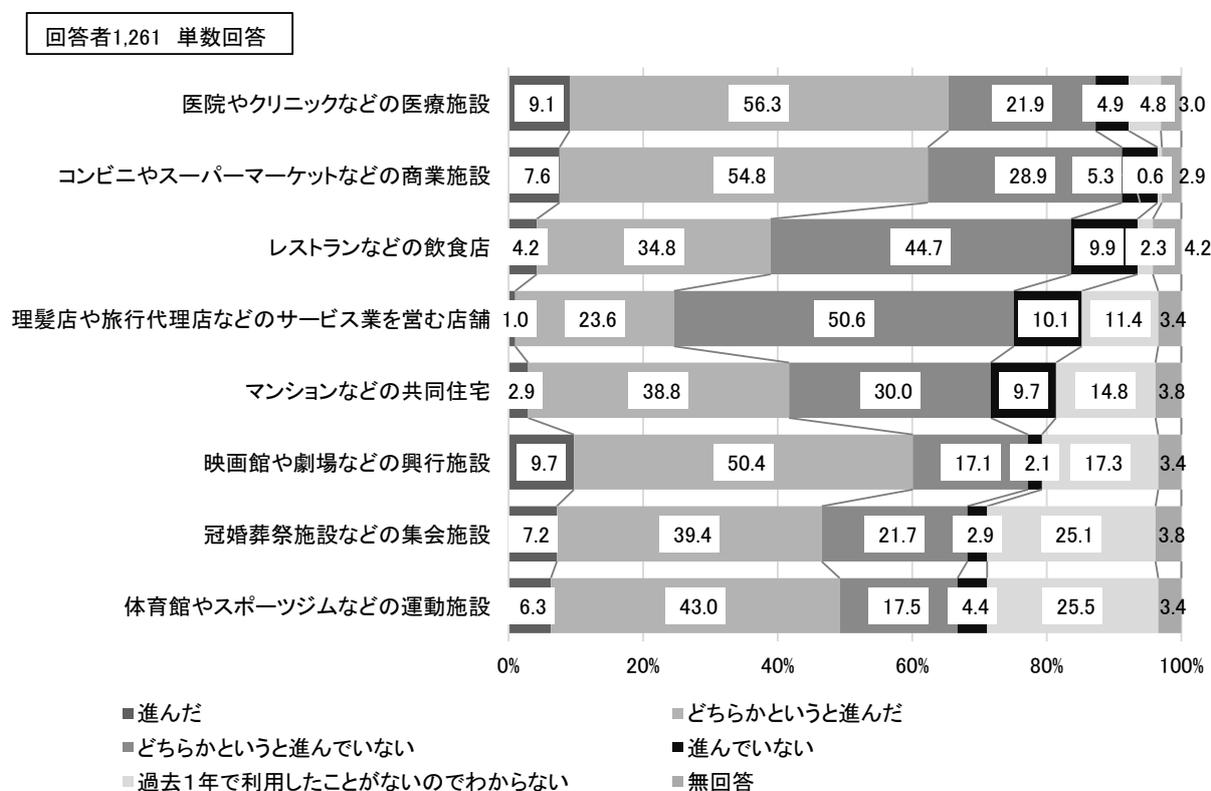


[その他の意見]

- 視覚、聴覚障害のある方とのコミュニケーションツールの充実
- 高齢者や障害者はマップを見る機会が少ない
- 家から施設まで同行など介助や交通手段
- 駐輪スペース など

問 16 練馬区内の中規模（500㎡未満）・小規模（200㎡未満）の建物は、以前と比べて、高齢者や障害のある方、乳幼児を連れた方などにとって利用しやすいバリアフリー整備が進んだと感じますか。建物の種類ごとにお答えください。（それぞれ1つに○）

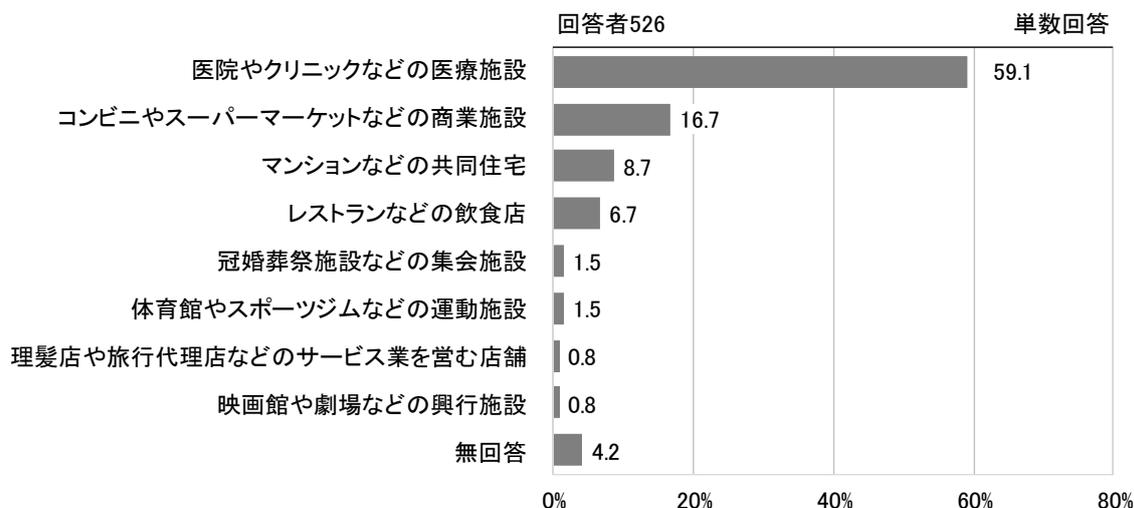
- バリアフリー整備が進んだかは、『進んだ』（「進んだ」と「どちらかというに進んだ」の合計）では、「医院やクリニックなどの医療施設」（65.4%）が最も多く、次いで「コンビニやスーパーマーケットなどの商業施設」（62.4%）、「映画館や劇場などの興行施設」（60.1%）となっています。
- 一方、『進んでいない』（「どちらかというに進んでいない」と「進んでいない」の合計）では、「理髪店や旅行代理店などのサービス業を営む店舗」（60.7%）最も多く、次いで「レストランなどの飲食店」（54.6%）、「マンションなどの共同住宅」（39.7%）となっています。



問 16-1 今後、段差の解消や手すりの設置、車いすやベビーカーで使いやすいトイレの設置などのバリアフリー化について、重点的に取り組むべきと思う区内の建物の種類を問 16 の①～⑧の項目の中から優先度の高いもの3位までの番号をお答えください。

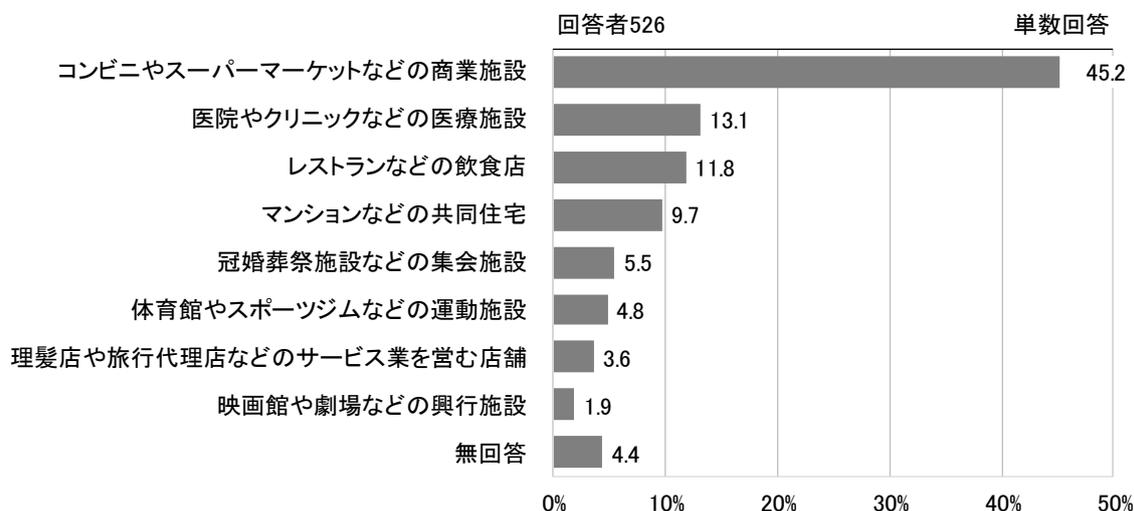
【1位】

- バリアフリー化について、重点的に取り組むべき建物は、1位では、「医院やクリニックなどの医療施設」(59.1%)が最も多く、次いで「コンビニやスーパーマーケットなどの商業施設」(16.7%)、「マンションなどの共同住宅」(8.7%)となっています。



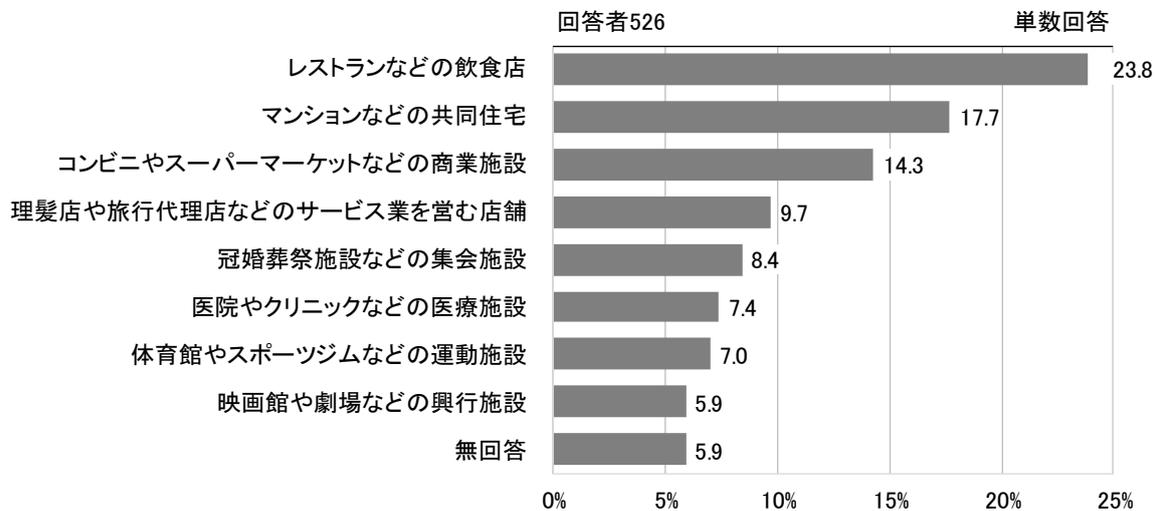
【2位】

- バリアフリー化について、重点的に取り組むべき建物は、2位では、「コンビニやスーパーマーケットなどの商業施設」(45.2%)が最も多く、次いで「医院やクリニックなどの医療施設」(13.1%)、「レストランなどの飲食店」(11.8%)となっています。



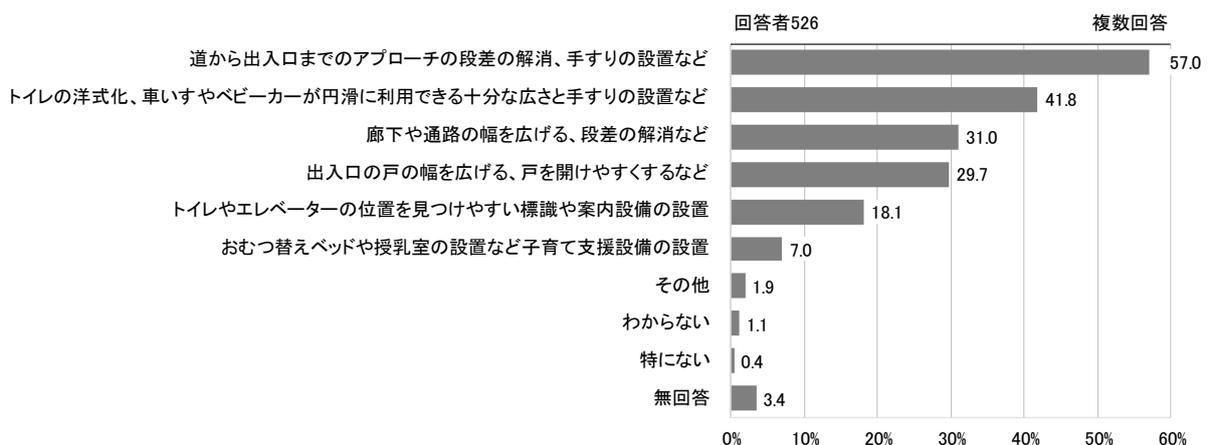
【3位】

- バリアフリー化について、重点的に取り組むべき建物は、3位では、「レストランなどの飲食店」(23.8%)が最も多く、次いで、「マンションなどの共同住宅」(17.7%)、「コンビニやスーパーマーケットなどの商業施設」(14.3%)となっています。



問 17 新築・改築等は、区の独自条例に基づき、バリアフリー整備を推進しています。既存の店舗等についても、バリアフリー整備をする際、費用の助成を受けられる事業を設け、バリアフリー化を進めています。しかし、既存の建物のバリアフリー化は、費用やスペース等の面で難しい場合も多くあります。そのような際に、最低限どのような整備があるとよいですか。下の図を参考にお答えください。(2つまで○)

- バリアフリー整備における最低限の整備は、「道から出入口までのアプローチの段差の解消、手すりの設置など」(57.0%)が最も多く、次いで「トイレの洋式化、車いすやベビーカーが円滑に利用できる十分な広さと手すりの設置など」(41.8%)、「廊下や通路の幅を広げる、段差の解消など」(31.0%)となっています。



〔その他の意見〕

- 石神井庁舎や坂下公園のトイレを洋式にしてください
- 心のバリアフリーを心掛けるのが先だと思います
- 歩道の整備
- 車いす対応のエレベーターの設定 など

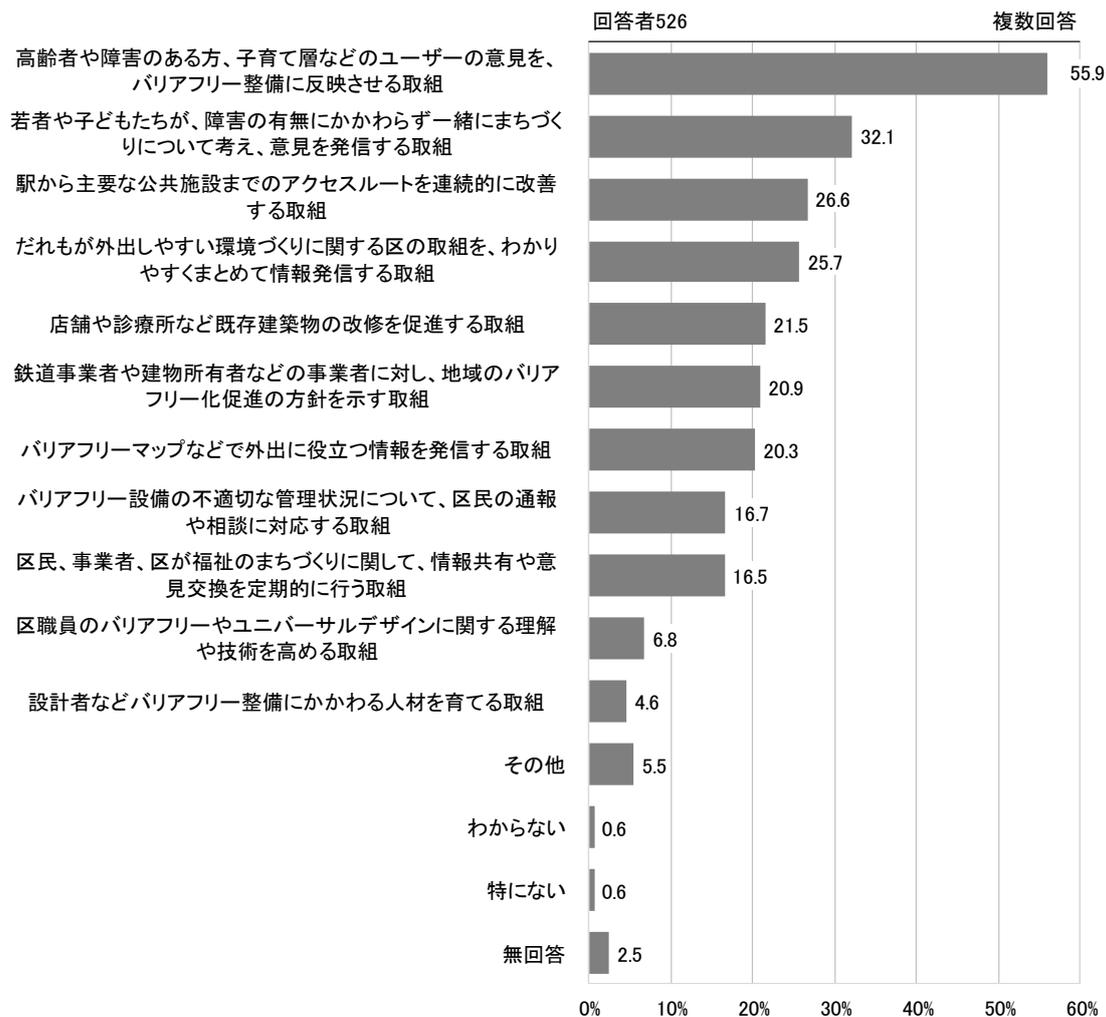
問 18 あなたの活動において、外出する際に、あるとよい設備、事前にわかるとよい情報、使っているアプリ、あるとよいアプリなどをお書きください。(自由記述)

〔主な意見〕

- 現在地から目的地へのルート案内と各ルートの段差やトイレ情報があると良い
- 公共など自由に使えるトイレ、洗面所を調べられるアプリ、段差が無い店舗などがわかるアプリ
- 私の知人には、特に今何か困っている人はいないように思いますので、活動も出来ていません
- エスカレーターは下りも必要、特に杖利用者は。
- 駅や公共スペースのエレベーター、エレベーターの場所のマップ
- 駅前にベンチがあるといい
- 車いすでも入れる建物、店を教えてもらえる
- 駐輪場が整備されている事
- アプリというものを使ったことがありません、世の IT 化がやたらに進み、不便と不安を感じます
- コンビニや公衆トイレの場所がすぐに分かる案内板やアプリ
- 駅からのアクセスルートや目印の情報
- 会議などの時、借りたい施設の空室情報が分かるアプリ
- もより駅からのバリアフリーの道案内（目的の建物までの）
- 地図に AED が表示されるアプリ、事前に確認して安心できるので助かっています
- 施設の駐輪場の有無と場所の案内 学校の正門や受付の位置情報や平面図 など

問 19 今後、練馬区内でだれもが外出しやすい環境づくりを進めていくためには、区はどのような取組を充実すべきだと思いますか。(3つまで○)

- 外出しやすい環境づくりを進めていくために、区は、「高齢者や障害のある方、子育て層などのユーザーの意見を、バリアフリー整備に反映させる取組」(55.9%)が最も多く、次いで「若者や子どもたちが、障害の有無にかかわらず一緒にまちづくりについて考え、意見を発信する取組」(32.1%)、「駅から主要な公共施設までのアクセスルートを連続的に改善する取組」(26.6%)となっています。



[その他の意見]

- 道路、特に歩道が使いにくい、幅、段差や坂など
- 移動手段がないので交通の援助や同行支援の拡充
- みどりバスなどの区間の停留所間隔がもう少し短くなると便利で利用しやすくなる
- 私道がとても歩きづらく外出できない人がいる
- 点字ブロックが障害になっている、鉄道事業者はすべての障害者に公平に対策すべき など

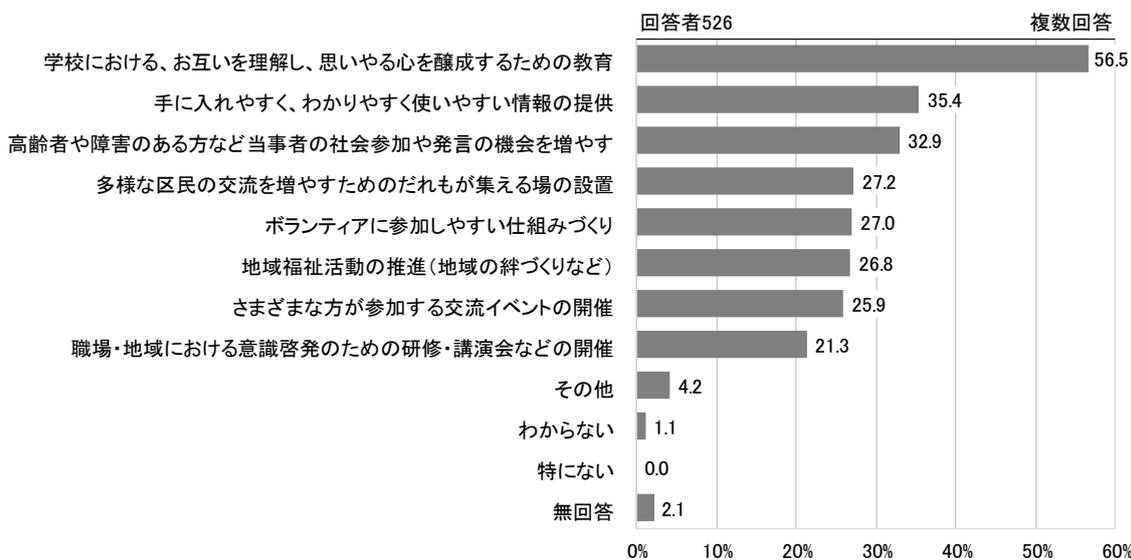
問 20 バリアフリー整備に関するご意見をお書きください。(自由記述)

〔主な意見〕

- 歩道の平坦化、建物への車出入り用に切り下げや傾斜設置は車いす、ベビーカーに限らず不安定
- 年代、性別、体形、障害の有無など、様々な立ち位置の人々に参加してもらおう
- 弱者 15 分の利便性のため、健常者 100 人 300 分が不便になる事の検証もやってほしい
- ユニバーサルデザインを意識した誰もが使いやすいものに
- 再開発事業や道路の整備計画が区民にとって明るい未来像を実感できる様な企画と体制づくり
- 道路や建物を作る人たちのバリアフリー意識の問題
- 歩道の確保を考えた道路の整備が必要です
- エスカレーターというものはバリアフリー設備ではなく健常者が楽をするための道具にすぎません
- 松葉づえや車いすを使ってみると困ることがたくさん出てくるが、そうでない時には気が付きにくい例えばエスカレーターは上りより下りが欲しかったりした
- 自転車の歩道走行に関するルールの撤廃
- 街並みを整え、みんなが歩道を通りやすくしてほしい
- ハード面のバリアフリーよりもソフト面のバリアフリーを！
- バリアフリー化された施設の情報を区民にお知らせすれば、関心が高まるのでは
- バリアフリーではなくユニバーサルデザインを基本に考えてほしい
- 住居のバリアフリー化は進んでいるが、一步出たら道路、施設などが未整備
- 定期的に情報収集
- 少しずつ良くなっていると思うので、このまま少しずつでも良くなってほしい
- 区役所内のトイレを全て洋式に変えてもらいたい
- 「この先段差あります」の様な指示板(書)などがあると良い
- 当事者の意見をよく聞いて対応することが大切
- 一般道路から駅への通路(広場)の段差がまだ解消されていないのを見受ける
- 外国人への案内の充実 など

問 21 ソフト面における福祉のまちづくりを推進するためにはどのような取組が必要だと思いますか。(3つまで○)

- ソフト面における福祉のまちづくりを推進するための取組は、「学校における、お互いを理解し、思いやる心を醸成するための教育」(56.5%) が最も多く、次いで「手に入れやすく、わかりやすく使いやすい情報の提供」(35.4%)、「高齢者や障害のある方など当事者の社会参加や発言の機会を増やす」(32.9%) となっています。



[その他の意見]

- 車いす体験や、視覚障害体験など
- 地域の施設はすでに人の群れが出来ているから、新しい方は「輪」の中に入りづらい
- 寄り添い悩みの解決へ
- 1番は学校だけでなく、すべての区民に対して進められるべきと思います など